

閉鎖型サクシオンカテーテル(エコキャス)の使用経験

北里大学病院看護部 NICU 入江暁子

気管内吸引による合併症の予防

NICU において人工呼吸器管理は、児の急性期に日常的に行なわれる医療行為の 1 つである。

人工呼吸器を装着された児の看護ケアで最も気を付けなければならないのは、気管内吸引操作による感染の危険を回避することと気管内吸引中におこりやすい低酸素状態を防止することである。従来の開放型サクシオンカテーテルの場合、吸引操作中に一時的に呼吸器の補助がなくなることから、低酸素状態を招きやすく、そのため気管内吸引は短時間に確実にこなさなければならない最も熟練を必要とする看護ケアの 1 つである。

当院 NICU では、閉鎖型サクシオンカテーテル(エコキャス)を導入している。エコキャスの特徴は、呼吸器にサクシオンカテーテルを装着したままで人工呼吸を中断することなく気管内吸引ができることである。人工呼吸を中断する必要がないため、FiO₂ の低下がなく PEEP も維持できることから SaO₂ の低下がほとんどなく低酸素状態を予防できる可能性がある。さらに、気管内操作時の気管内分泌物の飛沫感染も防ぐことができ、院内感染を減少させる可能性もある。

医療者側のメリット

看護師の負担を考えた場合、気管内吸引は無菌的に、しかも短時間で児への影響を最小限にするために、従来の方法では看護師 2 名で行っていた。

また、吸引による気管の損傷をなくすために吸引のたびに挿入するカテーテルの長さを測り、滅菌手袋をはめ実施していたが、現在は、エコキャスを使って簡便に 1 人で短時間に気管内吸引が可能である。さらに 1cm ごとに目盛りがついているためより安全に吸引ができ、当院 NICU のように新人看護師の多い病棟では大きなメリットと言える。

次にコストについては、吸引回数やどの製品をディスポーザブルで使用しているかによるが、例えば 1 日 15 回吸引した場合(洗浄水は除く)

<開放型>

サクシオンカテーテル	15 本 × 185 円
滅菌手袋	15 枚 × 14 円
	2,985 円

<閉鎖型>

エコキャス	1 本 2,400 円
-------	-------------

1 本の単価は高いが、吸引回数によっては決して割高ではないと考える。

新生児医療の進歩により、1,000g 未満の超低出生体重児の生存率が改善し、長期の人工呼吸器管理を必要とする児が増加している。人工呼吸器管理中に欠くことのできない気管内吸引は児に与えと同時に看護師の技術向上のための日頃の訓練も忘れてはならない。

図 1, 開放型サクシオン

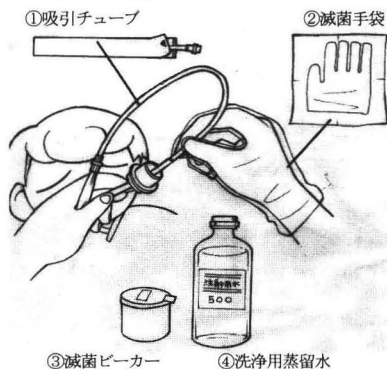
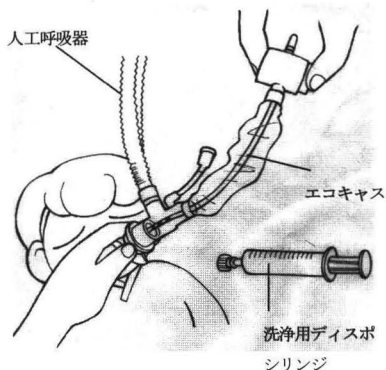


図 2, 閉鎖型サクシオン



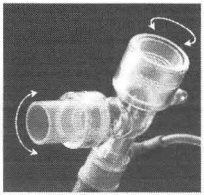


エコキャスはエコノミーとエコロジーを両立させた閉鎖式サククションセットです。

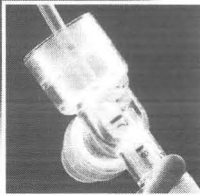
(ECO-Cath)

エコキャス

閉鎖式サククションセット



回転コネクター付
患者の苦痛を軽減します。
接続と取り外しを容易に
します。



レンズ付
デブスマークが確認しや
すくなり、目の疲れと処
理時間を減少させます。

吸引コントロールバルブ
偶発的な吸引を防止し
ます。バルブを持ち上
げ180度回転させ、ロ
ックできます。

院内感染を軽減し、吸引時のグローブや消毒などが不要となります。
経済的に費用の削減を追求した、優れた機能を発揮する
閉鎖式サククションシステムです。

tyco
Healthcare

日本シャーウッド株式会社

本 社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-7 TEL (03) 3355-9411 (代表)